

オフィス空室マンスリーレポート

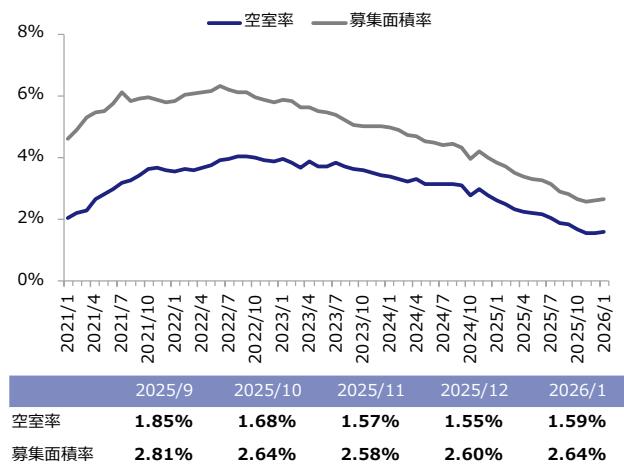
東京 2026年1月

2026年2月4日

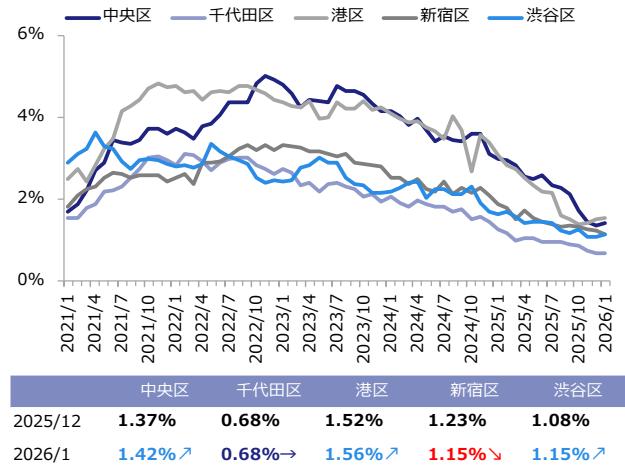
東京23区2026年1月のオフィス空室について公表する。

- 2026年1月期の空室率は、1.59%と前月と比べ0.04pt上昇した。募集面積率は2.64%と前月と比べ0.04pt上昇した【図表1】。
- 都心5区別の空室率は、港区が1.56%と最も高く、千代田区が0.68%と最も低かった。中央区、港区、渋谷区は前月から上昇、千代田区は横ばい、新宿区は下落した【図表2】。
- 空室面積は10.8万坪と、前月と比べ0.4万坪増加した【図表3】。
- 空室増減量は、増加が3.0万坪、減少が2.6万坪と、増加が減少を上回った【図表4】。

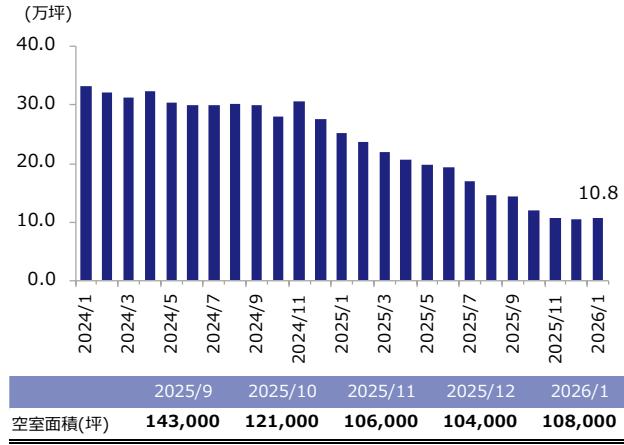
図表1：空室率・募集面積率（23区・全規模）



図表2：空室率（5区別）



図表3：空室面積（23区・全規模）

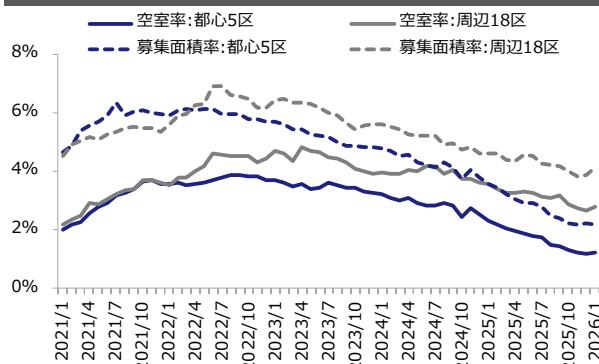


図表4：空室増減量（23区・全規模）

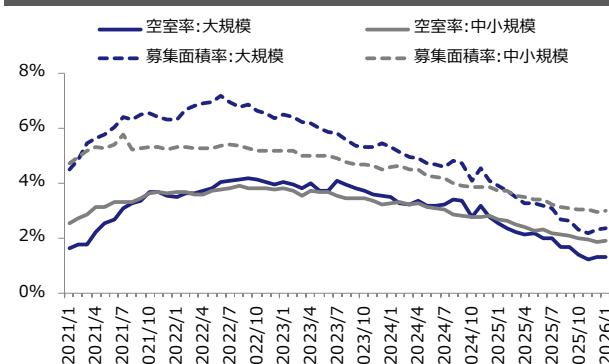


- エリア別の空室率は都心5区が1.21%、周辺18区が2.76%、募集面積率は都心5区が2.16%、周辺18区が4.14%となった【図表5】。
- 規模別の空室率は大規模ビル（延床5,000坪以上）が1.32%、中小規模ビル（延床300坪以上5,000坪未満）が1.90%、募集面積率は大規模ビルが2.35%、中小規模ビルが2.98%となった【図表6】。

図表5：空室率・募集面積率（エリア別）



図表6：空室率・募集面積率（23区・規模別）



調査概要

対象	用途：オフィスビル 地域：東京23区 規模：延床300坪以上
データ元	ザイマックスが独自に収集した空室募集区画と物件データ
空室率・募集面積率 算出方法	<ul style="list-style-type: none"> 空室率 = 空室面積 ÷ 貸貸面積 空室面積：調査時点において、竣工済物件で募集中空室区画の面積の合計 貸貸面積：調査時点において、竣工済の物件の貸貸対象となる面積 募集面積率 = 募集面積 ÷ 貸貸面積 募集面積：空室面積に解約予告済みの区画を加えた募集中の面積の合計
空室増減量 算出方法	<ul style="list-style-type: none"> 空室増加面積 <ul style="list-style-type: none"> a.既存ビルのテナント退去面積 / b.新規竣工物件の総貸貸面積 空室減少面積 <ul style="list-style-type: none"> a.既存ビルのテナント新規入居面積 / b.新規竣工物件の総貸貸面積のうち、竣工時点 でテナント入居が決まっている面積 / c.既に空室だったものが貸止めされた面積
備考	貸貸面積が公表されていない物件は、京都大学大学院工学研究科建築学専攻加藤直樹研究室との共同研究結果から導き出された計算式を使用し、延床面積より推計

本レポートに関するお問い合わせ

ザイマックス総研

<https://soken.xymax.co.jp> | E-MAIL: info-rei@xymax.co.jp